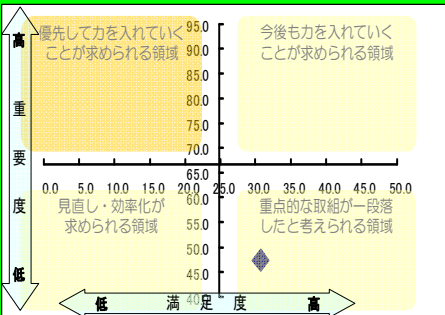


施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱	市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	個性的な市民文化・都市文化を創造する	取組の 基本方向	「個性的な市民文化・都市文化を創造する」ため、市民の自主的な文化活動を推進するための「文化活動環境の充実」、市民の文化遺産・伝統文化に対する意識を高めるため「文化的資源の掘り起こし、保存、継承」に重点的に取り組めます。	政策目標 (基本施策目標)	本市の誇りである地域文化が市民の手により生まれ、魅力あふれる個性的な市民文化・都市文化が創造されています。

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	文化活動環境の充実		④ 施策の達成状況	施策指標(単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)	
	②施策目標	市民が、主体的に芸術文化活動を展開しています。		指標① (総合計画に基づく指標)	-----	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
③施策を 取巻く環境	国・県等の動向	国においては、平成19年2月に「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第2次基本方針)」が決定し、以後5年間を見通した文化芸術の振興を総合的に推進するとされた。栃木県においては、平成21年度に県内各地域において、多彩な文化活動や、文化活動の担い手育成、地域伝統文化継承活動を支援するため、団体に対して助成を行う栃木県文化振興基金を創設し、文化振興の制度づくりを進めている。また、市民の高齢化が進むとともに、余暇時間を文化活動に費やすことが想定され、今後更に市民の文化活動の環境の充実に対するニーズが高まる。	市民の 施策満足度 30.7%	市民の 施策重要度 47.4%	達成度 (単年度目標)	● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	21年度は、市民芸術祭30周年を迎えた年でもあり、記念事業もあわせて実施したため、参加人数が大幅に伸び、目標値を大きく上回った。	⑦ 現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を踏まえた分析)	成果が見られる点 市民芸術祭等の文化活動の参加者が増加しており、施策目標はほぼ達成している。
外部意見 その他	22年3月の社会教育委員の会議で以下の意見が出された。 ・「ジャズ」を活用したまちづくりについては、中心市街地の活性化と観光の側面だけでなく、取組を支える人材育成や教育普及にも力を注ぐべきである。 ・文化振興の担い手となる若手への意識啓発にも十分配慮した取組を進める。 ・文化施策の展開にあたっては、「ふれあい文化教室」のように文化関係者に協力を得ることが望ましい。 ・文化活動は個人で行うのが原則であることから情報提供をきめ細かに行うべきである。	必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)			● 増加している	横ばい	減少している	説明	市民芸術祭及びジュニア芸術祭の参加人数が増加しており、引き続き市民の文化活動の参加に対するニーズは高まっている。			
		適切性 (適切な事務事業の選択、実施)			● 十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	文化振興の核となる人材育成や関係団体との連携の強化を図る必要がある。また、市民会館大ホールの収容定員が少なく、ハード面における文化活動環境が十分整っていないとは言えない。			
		有効性 (政策目標への効果)			● 十分である	やや不十分である	不十分である	説明	「ジャズ」関連事業が拡充されるなどにより、実績値が目標値を上回っており、施策として有効である。			
⑤ 市民意識調査結果			⑥ 施策の評価									

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	市民が真にゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現するための、文化活動を支援するための環境の充実を図るとともに、文化を通じて活力と魅力あるまちづくりを推進する。	⑨政策評価 会議意見
	重点事業	文化意識の向上を図るため、市民の文化活動に対する育成・支援を行い、特に、本市の特色ある文化資源である「ジャズ」「百人一首」などについて全国的にも評価されるような取組を推進し、市民の主体的な文化活動につなげる。	
	見直し事業	ジャズのまちづくりや市民芸術祭など今後も市民参加の裾野を広げるための体制等見直しを図る。	

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H20	H21	H20	H21	重点度 (A~C)	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
					実績値	実績値					
1	うつのみや百人一首市民大会交付金 担当課 文化課	市民等	H7	市民大会、文化講演会開催数	2	2	1,979	1,979	A	拡大	文化活動への市民参加のきっかけづくりとして、本市独自の文化素材である「小倉百人一首」の市民定着を図るため、大会参加者の増加につながる事業の再検討を行うとともに、学校の現場においても児童が「百人一首」に触れる機会の拡大を目指す。
					2	2					
2	宇都宮エスボール文化振興事業 担当課 文化課	若手芸術家	H13	今後の活躍が期待できる若手芸術家の選出、質の高い成果発表機会の創出 (H20までは選考委員会開催数、受賞者の発表数)	5	2	2,945	2,846	A	見直し	制度創設から10年目を迎え、市民に還元できる制度であるか等の評価を踏まえ、賞のあり方について検討する。
					5	2					
3	うつのみやジャズのまち委員会交付金 担当課 文化課	市民等	H13	主催・共催・協賛・後援事業数	22	19	4,557	4,054	A	見直し	各種事業が市民の間に定着してきており文化活動環境の充実にも寄与しているが、今後は市と民間の役割分担に基づき、市民協働のもとジャズのまちづくりを推進する。
					12	25					
4	妖精資料活用事業 担当課 文化課	市民等	H16	妖精資料活用事業数	43	45	15,677	14,316	A	継続	今後更に市民の文化活動への参加のきっかけとなるよう、有効な資料の活用方法を検討し、市民ボランティア組織を活用した事業の推進体制の強化と事業の展開を進めていく。
					51	48					
5	文化会館事業 担当課 文化課	市民等	S54	事業数	40	40	91,819	83,925	A	拡大	芸術文化の専門的知識を持つ財団法人うつのみや文化創造財団において、さらに自主性を高めた独自の事業展開を進めていくとともに、教育普及啓発事業のさらなる拡充に努める。
					40	40					
6	美術館事業 担当課 文化課	市民等	H9	事業数	70	70	248,828	252,771	A	拡大	芸術文化の専門的知識を持つ財団法人うつのみや文化創造財団において、さらに自主性を高めた独自の事業展開を進めていくとともに、教育普及啓発事業のさらなる拡充に努める。
					74	71					

7	文化会館整備事業（単独）		文化会館	S54	工事費	77,498	28,428	40,486	25,200	A	拡大	経年劣化が進み、施設の整備・更新箇所が増えていることから整備内容等を十分精査し、市民ニーズに対応した計画的な整備・更新を進めていくことが急務である。
	担当課	文化課				40,486	25,452					
8	美術館整備事業		美術館	H9	工事費	11,972	7,100	15,855	6,773	B	継続	経年劣化が進み、施設の整備・更新箇所が増えていることから整備内容等を十分精査し、市民ニーズに対応した計画的な整備・更新を進めていく。
	担当課	文化課				15,855	6,909					
9	芸術文化講師派遣事業		小中学生	H7	開催数	117	120	1,871	1,649	B	継続	小中学生の芸術文化への理解を深める有効なカリキュラムとして、未開催の学校にも当該事業を採用してもらえよう、周知に努めながら事業を推進していく。
	担当課	文化課				119	126					
10	市民芸術祭共催事業負担金		市民等	S55	市民芸術祭開催事業数	29	16	7,999	7,690	B	見直し	更に質の高い事業の展開を目指し、行政の役割の見直し等（財団への事務移管等）について、検討する。
	担当課	文化課				29	16					
11	ジュニア芸術祭共催事業負担金		小中学生	H11	ジュニア芸術祭開催事業数	6	6	4,178	3,980	B	継続	教育分野における文化芸術の発表の場として、学校との協力体制を強化する等運営に工夫をしながら事業を継続する。
	担当課	文化課				6	6					
12	文化協会事業補助金		文化協会	S54	事業数	15	15	1,533	1,533	B	継続	今後も継続的な支援を行うことで、市民主体の文化活動を促進する。
	担当課	文化課				15	15					
13	財団法人うつのみや文化創造財団運営補助金		財団法人うつのみや文化創造財団	H14	補助対象団体数 (H20までは補助対象者数)	4	1	14,633	14,068	B	継続	平成21年度の財団法人宇都宮文化会館管理公社と財団法人うつのみや文化の森の統合により、より市民ニーズに対応した自主性を高めた独自の事業展開を進めていく。
	担当課	文化課				4	1					
14	シティホールふれあいコンサート開催事業		市民等	S61	コンサート開催数	6	6	314	307	B	継続	財団法人うつのみや文化創造財団への事務移管を計画的に進め、今後更に市民が身近に音楽にふれることができる機会の場を継続的に創出していく。
	担当課	文化課				6	6					
15	芸術文化団体派遣補助金		全国大会出場団体	S62	補助対象者数	60	60	95	240	C	継続	助成によって、補助対象者の文化活動が活性化するため、今後更に本制度を活用してもらえよう、周知に努める。
	担当課	文化課				19	48					
施 策 事 業 費 合 計								452,769	421,331			